

みょうこう・ひうちやま りいだあ とおやま めんばあゝ やまざき さんがつじゅんくにちからにじゅんいちにち

830413

6

No.00087

3/19 快晴

火打山をめぐすのは今回が3回目である。妙高高原駅に近づくに従って、ふたごやしろ系持がたかまつてくる。小雪がちらちら降りるが晴である。あつたゆくり 腹こしらえ。8時バスで出発。9:50によやくリフト終点をソールで出発。前日の新雪が重い。かすべりしたくなる気持を押し、ひたすら登る。実は昨年この連休をここへ来たのである。初時はみぞれで寒かったのに今日は暑い。前日はリフト終点から西方向にある池峰を越したか、今日は赤倉山(北)方向へ直登する。その結果的に1850m付近で沢を引いた横断して2300mヒークをわきまして外輪山へ出るコースをとった。前日のコースと今日のコースを比較してみると黒沢池へ行くのにリッチは人よりの今日のコースのようである。次に通つみたりのコースとしては(無温泉→前山→南地獄谷→長助池→大倉乗越のとなりのコル→黒沢池)がある。快晴の中、5時40分で黒沢ユツテに着。4時の天気図で明日の午前中は晴と出た。山崎氏の献立によるおいしい晩メシを腹いっぱいにしてユツテへ。

3/20 快晴 (一時曇り)

5:30起ユツテ。帰すことした。外も雲がつかない。かすべり7:10テント麓。快調にシールがまいて気分は最高。茶臼山を由尾根直して、約2Hで、火打山頂。なかめはすばらしい。白馬岳を初め、以後立山連峰は手が届きそう。やまの5人パーティが登頂して来た。写真を取り合った後滑降開始。最初は尾根をすべり、途中から鍋倉谷源流へ滑り込む。1950m付近まで下った。非常に滑りやすい。新雪が5cm位乗っており、下のソールが少しヤカめか、という状態であった。1950mの所からシールで、天狗の庭→高谷池→黒沢手前ヒークのコースをとった。そして最後の仕上げは黒沢岳前のコルから一直線に黒沢池へ。気分は最高、おおいに登であった。テントで昼メシの後、大倉乗越を慎重に出発。夏道の東のコルかよことを確認して、本日最後のひと滑り。

3/21 曇→雪→みぞれ→雨→曇
また今日も寝すことして、5:20起床。装備はかなり軽くなった。しかし登はいやなものである。7:25に出発した時は既に雪が降り出していた。まず大倉乗越の東のコルからザリザリと滑降開始。そして人間はおもむろに斜滑降 キックターンでお

り始めた。斜度は35°位の感じ。(途中からソールターンの切り換えて、長助池へ着。ちょうどこの時視界が5m位になってしまった。しかし、すぐ100m位の視界になって、大倉谷ぞりに滑り出た。ここでスケベ心をおこして、地図で1593mの印のあるところで大倉谷を渡ると差37、1Hのロスタイム。山崎氏に申し訳せたいことをした。実はこの後、おおいに手こずって、黒沢池からなんと5時間半かかってようやく、燕温泉へ着。このコースは2度と通りたくない。なんと、山崎氏はこのコースは2度目なのであった。このコースを選ばれて申し訳せたいの一言。(教訓:谷の中でガスが出た時は高度計がほしかった。)

- メンバー: 山崎、遠山
- コースタイム: 3/19 妙高リフト終点 9:50 → 黒沢池 15:30、3/20 7:10麓 → 火打 9:20 → テント 12:30/14:00麓 → 大倉乗越 14:40 → テント 15:20、3/21 7:25麓 → 燕温泉 13:50 → 赤倉バス停 14:40

